

二輪整備士講習で、新商材のデモンストレーションを実施 OBD対応以前の車種データも読み取れる診断機を紹介



BDSテクニカルスクールは8月19日と20日の2日間、2級二輪整備士講習の「故障探求実習」において、株式会社TCJの相澤敏之氏を招き、同社が展開するブランド『THINKCAR』のバイク用スキャンツール「M70 MOTO」のデモンストレーションを実施した。

M70 MOTOは、TCJが開発および販売を行っているバイク用スキャンツール。国内4メーカーをはじめ、ハーレーやBMW、ドゥカティ、インディアン、ポラリス、ビクトリーの10メーカーに対応した変換カブラーを同梱。これらを使用することで、OBD対応以前の車種データも読み取ることができる。

またM70 MOTO本体のカブラーは、OBD規格の16ピ

数の海外メーカーだけでなく、OBD対応以前の車種のデータも読み取ることができる。価格（税込）は13万2000円と、導入コスト的にも現実的なのかなと思います」

M70 MOTOは、読み取ったレポートをPDF化してメールに添付したり、表示されるQRコードをスマホで読み取りダウンロードすることもできる。そのため、このレポートデータは、整備完了の証明書として使用することも可能だ。相澤さんは同製品活用へのメリットについて、「作業効率の向上だけでなく、自

身スキルを磨くこともできるとしています。私たちはM70 MOTOを通じてより多くのデータを集約し、それを生かして、新たなサービスの提供に繋げていこうと考えています」と、説明する。

BDSテクニカルスクールの二輪整備士講習では、教科書に記載された内容だけでなく、展示会やメーカー研修会などにも足を運び、最先端の情報も伝えられるよう努めている。今後も会員店のビジネスに役立ちそうな製品があれば、講習と絡めて紹介をしていく。



カバレッジリスト



株式会社TCJ
相澤敏之氏

のデータも読み取れる。詳細については、TCJのホームページにある「カバレッジリスト」から確認できる。本体はパソコンに接続する必要がなく、車体側のカブラーに繋ぐと起動。Wi-Fi環境があればどこでも使用可能となっている。

M70 MOTOの特長について、TCJの相澤さんは次のように説明する。

「我々の製品はアップデート料金が無料です。また常にネットワークと通信しているため、更新は年に一度ではなく、アンドロイドのOSが対応している限り毎日行えます。さらに、

フィードバック機能も付いているので、通信がで



THINKCAR「M70 MOTO」

からない車種があった場合、お客様はM70 MOTO上で報告することが出来ます。それを受け私たちは、可能な限り情報のアップデートを行っています」

デモンストレーションでは2013年式の「NC700X」をはじめ、受講生に持ち込んでいただいたスズキ

「GSXR125」とBMW「S1000RR」を使用して、エラーコードの表示とECUデータの確認を実施。受講生からは、「こんなに多くの情報を見れるとは思わなかった。購入を検討する」「汎用診断機では読み取れない、BMWのデータを見れるのはいいね」といった感想が寄せられた。

今回のデモンストレーションについて、BDSテクニカルスクールに井田安彦講師は次のように語る。

「6月に開催されたオートサービスショーで『M70 MOTO』について知り、これは会員店様の役に立つのではないかと思い、テクニカルスクールの受講生に紹介してもらったことになりました。二輪専用の診断機は珍しく、複

THINKCAR「M70 MOTO」

お問い合わせ先：株式会社TCJ

TEL:055-941-5123

月～金 9:00～17:00 ※土日祝除く

<https://tcjlt.com/>